

令和2年度 第1回

豊田市環境審議会

議案書

<議案>

- 第1号議案（議決） 会長及び副会長の選任について
- 第2号議案（議決） 専門部会の設置について

<資料>

※ご確認いただきますよう、よろしくお願いいたします。

- 1 豊田市環境審議会運営について
- 2 環境基本計画等の進捗確認について

第1号議案 会長及び副会長の選任について

豊田市環境審議会規則(平成8年9月30日規則第40号)第2条第1項及び第2項の規定に基づき、会長及び副会長を以下の事務局案のとおり推薦する。

役職	氏名	所属	連続任期
会長	<small>ちかみ さとし</small> 千頭 聡	日本福祉大学	7期(H19.5.~)
副会長	<small>わたなべ のりゆき</small> 渡部 教行	豊田市自然愛護協会	2期(H30.9.~)

第 2 号議案 専門部会の設置について

豊田市環境審議会運営にあたり、環境基本計画記載の各社会の施策に対する評価や課題、改善点等の意見をまとめるため、以下の専門部会を設置する。

※各専門部会構成委員については裏面の環境審議会委員名簿のとおり。

※「安心・安全社会」「市民の環境行動力の向上と共働の分野」については本会議で取り扱う。

部会名	低炭素社会	自然共生社会	循環型社会
構成委員数	6 人	6 人	7 人
部会長名 (所属)	<small>すぎやま のりこ</small> 杉山 範子 (名古屋大学)	<small>ますだ みちこ</small> 増田 理子 (名古屋工業大学)	<small>たにぐち いさお</small> 谷口 功 (椋山女学園大学)

※環境基本計画等の進捗管理については別紙資料 2 を参照してください。

	委員名	ふりがな	所属・出身団体等	選任区分
1	梅村 豊作	うめむら とよさく	市民公募	市民公募
2	梅村 良	うめむら りょう	とよたエコライフ倶楽部	関係団体等
3	大熊 千晶	おおくま ちあき	日本野鳥の会	関係団体等
4	加藤 智和	かとう ともかず	市民公募	市民公募
5	小山 克弘	こやま かつひろ	あいち豊田農業協同組合	関係団体等
6	近藤 琢也	こんどう たくや	中部電力パワーグリッド株式会社 豊田営業所 (豊田商工会議所第2工業部会)	関係団体等
7	近藤 恭弘	こんどう やすひろ	新明工業株式会社 (豊田商工会議所第1工業部会)	関係団体等
8	篠田 陽作	しのだ ようさく	名古屋経営短期大学子ども学科	学識
9	島田 知彦	しまだ ともひこ	愛知教育大学教育学部理科教育講座	学識
10	杉山 佐由紀	すぎやま さゆき	NPO法人とよたエコ人プロジェクト	関係団体等
11	杉山 範子	すぎやま のりこ	名古屋大学大学院環境学研究科附属持続的共発展教育研究センター	学識
12	谷口 功	たにくち いさお	椋山女学園大学人間関係学部	学識
13	千頭 聡	ちかみ さとし	日本福祉大学国際福祉開発学部	学識
14	永江 榮司	ながえ えいじ	市民公募	市民公募
15	林 基生	はやし もとお	気象庁名古屋地方気象台	学識
16	前田 洋枝	まえだ ひろえ	南山大学総合政策学部総合政策学科	学識
17	増田 理子	ますだ みちこ	名古屋工業大学社会工学専攻	学識
18	山内 徹	やまうち とおる	市民公募	市民公募
19	渡部 教行	わたなべ のりゆき	豊田市自然愛護協会	関係団体等
20			豊田市区長会 ※豊田市区長会総会（令和2年6月3日）以後決定	関係団体等

環境審議会の運営について

1 設置根拠

豊田市環境基本条例 第22条

2 審議会の所掌事務

市長の諮問に応じ、次に掲げる事項を調査審議する。

- (1) 環境基本計画に関すること。
- (2) 廃棄物の処理及び清掃に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、環境の保全及び創造に関する基本的事項

※豊田市が設置する審議会は、市政における新たな政策課題等の対処に際し、以下の機能を有し、行政機能を補完するものとして大きな役割を担っています。

- ・外部の専門的な知識や経験等を活用する
- ・利害関係者の参加により公正かつ適正な結論を導く
- ・市民参加により広く民意を反映する

3 会議の招集

- ・会長が招集
- ・委員の半数以上の出席をもって成立

4 審議会の運営

(1) 会議の公開

- ・原則公開
- ・公開することにより、公正又は円滑な会議の運営が阻害され、会議の目的が達成できなくなると認められる可能性がある場合などは、審議会において公開、非公開を決定

(2) 会議録の公開

- ・委員名なしの要約表記とし、原則公開
- ・公開に当たっては、会議録が作成された段階で各委員から確認をとる。

(3) 会議資料の公開

- ・原則公開
- ・委員名簿については、名前、所属、役職は公開
- ・公開することにより支障が出るおそれのある場合は、審議会において公開、非公開を決定

(4) 部会の開催

- ・必要に応じて、部会を開催し、少人数で議論を行った後に、本会議に諮る。

5 運営の適正化

効率的かつ効果的な会議を開催するため、各委員には、会議を開催するおおむね1か月前には、次に掲げる事項について通知するほか、開催日のおおむね1週間前には関係資料を提供する。

①会議の開催日時、②開催場所、③議題、④そのほか必要と認められる事項

6 委員の役割

- ・本会議への出席（年に1～2回程度） ※必要に応じて、専門部会への出席
- ・「2 審議会の所掌事務」に関する審議に際し、意見を述べること。

7 その他会議のルール

- ・時間はおおむね2時間程度（検討内容によっては、短縮又は超過する場合あり）
- ・会議において発言する場合は、（挙手の上）議長が指名した場合に発言する。
- ・会議時間の制約上、発言は要旨をまとめ、簡潔にするように努める。
- ・発言時間を十分に確保するため、事務局は事前に資料を提供するとともに、簡潔に説明するように努める。

環境基本計画等の進捗管理について

進行管理の方法は、P D C Aサイクル（Plan・Do・Check・Action）に基づいて進める。

P D C Aサイクルは、各年度の「小さいサイクル」と、中間・最終評価等の「大きいサイクル」の両輪で進める。

1 「小さいサイクル」による進捗管理（毎年度）

（1）評価方法

- ・各社会・分野について、『施策の柱』ごとに評価（施策管理シート）
 - ・進捗評価は『施策単位』で『成果指標』をもとに「達成」「順調」「遅れ」に分類
- ※分類方法は、第8次豊田市総合計画の評価区分をもとに実施

「達成」：施策の当初の目標を達成しているもの （中間目標を既に達成）
「順調」：現状のペースで今後も取組を進めていくもの （年次目標に対して80%～100%が目安）
「遅れ」：ペースを加速又は他の柱に比べ重点的に取り組む必要があるもの （年次目標に対して80%未満が目安（※前年度からの増減も考慮））

（2）専門部会による審議

4社会1分野のうち、低炭素社会、自然共生社会、循環型社会は、専門部会を設置し個別審議を実施

（3）評価スケジュール

	～4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
事業の実績確認、内部評価	内部評価						
環境審議会の意見聴取			専門部会		本会議		
最終評価（達成状況、課題等）					市環境部で実施		
次年度当初予算への反映							
環境報告書（編集・公表）					編集	公表	

2 「大きいサイクル」による進捗管理（2年ごと、中間年次、最終年次）

（1）評価方法

2年ごとに『まちの状態指標』の達成状況を確認（市民アンケート実施等）

（2）専門部会による審議

2年ごとに「小さいサイクル」による進捗管理に合わせて実施

（3）評価スケジュール（案）

	前期				後期			
	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
「まちの状態指標」達成確認	-		アンケート		アンケート		アンケート	
中間見直し			方針等審議	見直し作業				
計画の改訂							方針等審議	改訂作業

→令和2年度は市民アンケートの実施及び中間見直しの方針を検討します。

令和2年度第1回豊田市環境審議会 回答書

以下のとおり回答いたします。

第1号議案 会長及び副会長の選任について

- 原案のとおり承認する
- 原案について以下のとおり修正を希望する

内容

第2号議案 専門部会の設置について

- 原案のとおり承認する
- 原案について以下のとおり修正を希望する

内容

(署名)